

# 私費留学 体験談



## 中国 深圳大学への私費留学

永本 穂乃佳さん 外国語学部東アジア学科4年

### 留学先に中国を選んだ理由

私は東アジア学科の中国語コースに所属しており、中国語力を高めたいと思い中国に留学しました。中国史にも興味があり、遺跡に足を運ぶ事も目的の一つでした。深圳は、福岡と交通アクセスのよい香港までバスやフェリーでいけるので往来しやすいです。

### 準備期間:約半年

旅行保険を調べたり、クレジットカードを作ったりと時間がかかることもあるので、半年前から留学準備を始めました。留学先を決めたのも出発の半年前で、ビザの取得は出発の2か月前に終わらせました。

### 留学前の準備

留学先への入学願書提出、熊本学園大学へ休学届、ビザの取得、航空券の購入等

### 宿泊先:大学の留学生寮

私が滞在していた寮は一人部屋と二人部屋の二種類があり、料金は1学期 8000 元(一人部屋)6000 元(二人部屋)です。私が住んでいたのは一人部屋で、備え付けの家具は冷蔵庫、エアコン、ベッド、勉強机です。シャワーとトイレもついていました。寮の条件は滞在していた一年の間でも変わる所が多かったので、最新情報を調べる事をお勧めします。

### 現地での生活

中国ではクレジットカードが使えるお店が非常に少ないです。初期費用として現金を事前に両替して持っていくと良いと思います。現地での携帯番号と銀行口座を作った後はアリペイや Wechatpay が使えるようになるので、便利なキャッシュレス生活が送れます。初めから現金を持ち歩きたくない人は銀聯カードを作っていくと良いかもしれません。

部屋にキッチンがなかったので、毎食外に食べに行くか、出前を取っていました。中国は出前文化が盛んで、ほとんどのお店が出前をしてくれます。ご飯だけでなく、スーパーの商品もネットで注文すると40分ほどで届けてくれます。

### 大学の授業

平日朝 8 時半から 12 時まで週 5 日間授業があります。中国語の授業は入門・初級・中級・高級のクラスに分かれていました。午後は留学生向けの書道や広東語の授業が開講されていました。

年中行事に合った催しなどもあり、粽作りを体験するイベントなどにも参加しました。様々な国から来てい

る留学生との交流の場がたくさんあります。大学内には大きな図書館が2つあり、自習スペースが充実しています。

### 留学の費用（1元≒15.5円で換算）

海外旅行保険1年：20万円程度

学費1学期：8,800元（約137,000円）

寮費1学期：8,000元（約124,000円）

通信費1か月：100元程度（約1,550円）

三食外食していたので食費が比較的かかりました。10元（約160円）で食べられるチャーハンなどもあるので、大学近くのお店はお勧めです。学費・寮費以外で、1年間で100万円ほど使いました。

### 留学で困ったこと

留学先に着いてからすぐに始まる各種手続きです。慣れない中国語や英語が飛び交う中での手続きは分からない事だらけでした。VISA 手続きの過程で健康診断が必要なのですが、涙目になりながら必死に中国語を聞いていました。

書類の管理は必須です。銀行口座開設にも大学の入学許可証が必要だったので、最初の頃は手続きに必要なような書類は一式持ち歩いていました。

風邪を長引かせてしまった時、日本から持参した風邪薬が全く効かなかったため、早く現地の病院に行けばよかったと後悔しています。他にも現地の歯医者も利用しましたが、しっかり治療してもらったので躊躇わずトライしてみて良かったです。しかし、歯の治療は海外旅行保険の適用外だったので痛い出費でした。歯の治療だけは終わらせてから留学に行ってください。

### アドバイス

留学は行くタイミングや費用などの面で、躊躇してしまうことがあると思います。しかし私は卒業を1年遅らせてでも留学に行って良かったと思っています。海外で一年間暮らしていると、様々な壁にぶつかります。日本とは違い、意見をズバズバ言う人も多いです。先生が怖くていじけていた時期もありました。しかしそれにもめげずに一年間通えて良かったです。

留学で一番成長したものは精神面だと思います。パスポートを失くした時の対処法も身に着けました。たくさんハプニングが起こった留学でしたが、総じて楽しい1年間でした。みなさんも迷っているならぜひ留学に行ってみてください。きっとたくさんの経験が自分を成長させてくれます。